2025年度 蚕とまゆ展 美濃加茂 養蚕の舞台裏

今からおよそ100年前、 美濃加茂では多くの家庭が 蚕を育て、養蚕に励んでい ました。その背景には、養蚕 の普及に力を尽くした人々 や、地域に開かれた伝習所 の存在がありました。本展で は、養蚕とともにあった暮 らしと、その変化をたどり ます。



会 場 民具展示館・生活体験館

観覧料 無料



特別展を書に会える日

美濃加茂市民ミュージアム が所蔵する戦国期を中心と した史料の中から、羽柴(豊 臣)秀吉(1537-1598)の朱 印状を紹介します。戦いなど において船を繋いで川を渡る 際、船を固定または安定させ るために用いられたと思われ る「船鎖」にまつわる興味深い 内容で、文末には秀吉の朱印



羽柴秀吉朱印状(荒尾降重あて) 天正13(1585)年 美濃加茂市民ミュージアム 蔵

がはっきりと押されています。なお11月1日から7日は文化庁の 定める「文化財保護強調週間」であり、文化財について親しみを持つ きっかけとなれば幸いです。

会期 10月30円(木)~11月5円(水)

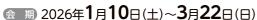
会場 エントランスホール

観覧料 無料

半原版画館コレクションから 明治之花 石版画百景

明治10年代から新しい複製技術として、盛んに制作されるようになった石版 画。当館では、瑞浪市の私立美術館「半原版画館」から2000点を超える近現代 の石版画の寄贈を受けました。時事問題から美人画、博物図など、幅広い分野

で制作された石版画の成り立ちや歴史的展開、 美術史的な位置づけを紐解きます。また総合 博物館である当館の強みを生かして、各分野 の学芸員の視点に沿い、貴顕の肖像、震災など 様々なテーマで作品群を解析します。



会 場 企画展示室・美術工芸展示室

観覧料 無料



婦女勉業之図 画作,発行:荒川藤兵衛(石版筆彩)

発 木立に響く逍遥

市の偉人坪内逍遙を顕彰して行われる古典 芸能イベントです。空前のヒットとなった映 画「国宝」で、曽根崎心中の徳兵衛役を好演した 俳優 大沢健(花柳惠右衛門)さんをお迎えして、 トークや舞踊をご堪能頂きます。

出演 大沢健(花柳惠右衛門)さん

解 説 濱口久仁子さん

(早稲田大学逍遥博士記念演劇博物館招聘研究員)

後援、早稲田大学坪内博士記念演劇博物館

会期 12月11日(木)

会場 エントランスホール

Instagram $\leq^{Follow Me!}$ inokamo bunkanomori official 展覧会情報のほか、風景・アート・収蔵資料など

みのかも文化の森の魅力を発信していきます。

|Webでも楽しもう!文化の森

【ふらりと展示室】

美濃加茂市民ミュージアムにある常設展示室 をWEB上で見られます。気軽に「ふらり」と 立ち寄って、気の向くままにページを開いて みてください。そして、何かここで感じたこ とがあれば、それを確かめにこの展示室や現 地を訪れてみてはいかがですか…。



文化の森HP https://www.forest.minokamo.gifu.jp/ →ふらりと展示室

【美濃加茂事典】

美濃加茂地域を中心とすることがらを 事典形式で解説。

https://www.forest.minokamo.gifu.jp/ →データベース→美濃加茂事典



開館時間 9:00~17:00

(ただし、施設の貸出し利用は8:30~22:00)

(ただし、祝日の場合は開館し、直後の平日休館) 年末年始

【9・10・11・12・1月の休館日】 9月1日、8日、16日、22日、29日 10月6日、14日、20日、27日

11月 4 日、10日、17日、25日 12月 1 日、8 日、15日、22日、29日~1月3日 ³ 1月5日、13日、19日、26日

■交通

●鉄 道 JR名古屋駅から美濃太田駅まで 東海道本線・高山本線経由、 特急「ひだ」で約40分 美濃太田駅北口から徒歩約17分

●自動車 東海環状自動車道美濃加茂ICから約5分

●あい愛バス

JR美濃太田駅北口より乗車、「文化の森」下車 (乗車時間約10分)

※時刻表など詳しくは、あい愛バスのホーム ページをご覧下さい。 https://aiai-bus.com/



行き			帰り			
美濃太田駅北口発	文化の森着		文化の森発	美濃太田駅北口着		
9:14	9:25		10:07	10:18		
10:52	11:03		11:45	11:56		
13:29	13:40		14:21	14:32		
15:11	15:22		16:03	16:14		
運賃 /一般 100円 中学生以下無料						

みのかも文化の森

美濃加茂市民ミュージアム

https://www.forest.minokamo.gifu.jp/



〒505-0004 岐阜県美濃加茂市 蜂屋町上蜂屋3299-1

TEL: 0574-28-1110

FAX: 0574-28-1104

잖 が大切にしているもの

みのかも文化の森では展示 やイベント・講座などのほか、 森の空気を吸いながらミュー ジアムカフェで、ゆったりと 時を過ごすという楽しみ方も あります。オープンスペース に吹き渡る風も爽やかです。 カフェでは展覧会のテーマや 展示品に関係する特別のス ウィーツがメニューに加わり ます。ほっと一息つける心地 よい空間としてぜひご利用く





Bunkanomori Special Exhibition!

令和7年度 美濃加茂市民ミュージア 現代美術レジデンスプログラム

まるいほう

2025年9月15日発行



柄澤健介《肌理と稜線》2024年制作 OPEN SITE 9『肌理と稜線』 (トーキョーアーツアンドスペース本郷、2024) 撮影:髙橋健治 画像提供:Tokyo Arts and Space

〈橋を渡す〉

愛知県在住の柄澤健介(1987年~)は登山をはじ め、自然に身を置く体験から得た山河のイメージ を、木彫で表現する作家です。クスノキの丸太を 用い、チェーンソーで彫り込み作る線と面、表裏、 複雑な造形を様々な角度から眺める時、眼の前の 風景はめくるめく展開し、大地と地底を一時に見 るような不思議な体感を観る者に抱かせます。

本展では、8月の約一か月、作家が当館で滞在 制作をした新作を中心に展覧します。

近年、木彫と鉄の構造物による空間構成を模索す る作家は、自然の中で生きるために人が作る建築 物を「自然」と言わないのは何故か、と問いかけま す。彫刻と鉄で成り立つ自身の作品を谷間に架か る橋のイメージに重ね、人と自然と芸術の関係性 を考察します。山と山の間に一本の橋を渡すよう な、人の建築的な営みを自然と捉え直す試みは、「芸 術と自然」の定義を広げるものとなるでしょう。

● 9月20日(土)~10月19日(日)

会場の企画展示室・美術工芸展示室

入場料 無料

関連行事	●日時	●会場	●定員	●参加料	●説明文	●申し込み
アーティストトーク	9月20日(土) 13:00~14:00	企画展示室 美術工芸展示室	_	無料	作家がこれまでの制作や今回 の作品について語ります。	事前申し込み不要
ワークショップ 「景色の発掘」	10月5日(日) 13:00~16:00	陶芸室	10名	500円	木と蝋を組み合わせた素材を、鋸・鑿などの道具を使って彫刻します。彫り進むことで現れてくる素材の内側とその痕跡の形から、新しい景色を発見しましょう。 対象:小学生以上(小学生の方は保護者同伴)	

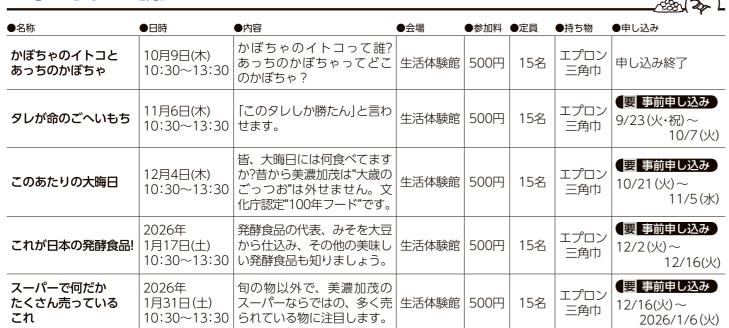
2025年9月~12月

イベント情報



●名称	●日時	●内容	●会場	●参加料	● 定員
第254回 森の朗読会	9月20日(土) 14:00~15:00	市民による朗読です。 作品 「ホームドア」 阿川大樹/作 『終電の神様』より	緑のホール	無料	113名
第255回 森の朗読会	10月18日(土) 14:00~15:00	市民による朗読です。 作品 「庭」 山本文緒/作 「鮒」 向田邦子/作 ほか	緑のホール	無料	113名
第70回 美濃加茂市美術展	11月20日(木)~ 11月30日(日) 9:00~17:00	市民公募による展覧会です。日本画、洋画、彫刻・彫塑・工芸、書、写真の5部門にわたって入賞入選作品を展示します。(最終日は15:00まで)	企画展示室 美術工芸展示室 エントランスホール	無料	_
美濃加茂市こども展	12月12日(金)~ 12月14日(日) 9:00~17:00	市内小中学校の児童、生徒の作品展です。俳句、 短歌、書写(硬筆・毛筆)、絵画、工作彫塑、技術・ 家庭科の作品を展示します。 お問い合わせ:教育センター (Tel 0574-28-3255)	企画展示室 美術工芸展示室 エントランスホール	無料	_
わくわくドキドキ 科学の広場	12月13日(土) 13:30~15:30	わくわくドキドキ楽しい科学コーナーがいっぱい!子どもたちの参加を待っています。 お問い合わせ:教育センター (TEL 0574-28-3255)	エントランスホール	無料	_
第256回 森の朗読会	12月13日(土) 14:00~15:00	市民による朗読です。 作品 「クリスマスの犬」 朱川湊人/作 「雪の夜話」 内海隆一郎/作	緑のホール	無料	113名

四季を食べる講座





自由観覧

門松立て

12月7日(日)~ 2026年1月7日(水) かつてこのあたりでみられた、簡素な

会場 生活体験館(まゆの家)



ていねいな暮らし講座



●名称	●日時	●内容	●会場	●参加料	●定員	●持ち物	・ ●申し込み
真綿づくり	10月11日(土) 9:30~12:00	カイコのまゆから真綿を 作ります。	生活体験館	300円	12名	ビニール袋、タオル	申し込み終了
秋を染める	10月25日(土) 9:30~12:00	秋の草木でTシャツを 染めます。	生活体験館	300円	12名	白いTシャツ(綿) エプロン ビニール袋 ゴム手袋 ぞうきん	申し込み終了
ミニ門松づくり	12月13日(土) 13:30~15:30	ミニサイズ(高さ40 ~ 50cmほど)の門松を作り ます。(1 つだけ作りま す。対にはなりません)	生活体験館	500円	10名	ビニール袋(門松を持ち帰る用)	要事前申し込み 10/7(火)~ 10/24(金)

アートな1日講座



●名称	●日時	●内容	●会場	●参加料	●定員	●持ち物	●申し込み
馬の絵付け	12月14日(日) 13:00~16:00	来年の干支は馬です。素焼き の馬に絵付けをしましょう。	工芸室	500円	15名	エプロン タオル	要 事前申し込み 11/2(日)~11/16(日)
陶芸でつくる器		手びねりの技法またはろくろで簡単な器をつくります。出来上がった作品は、後日お渡しします。(送付は有料)		1,000円	各回 12名	エプロン タオル	要事前申し込み12/2(火)~12/14(日)※申し込みの際は時間帯をご指定ください。

第27回 朗読フェスティバル

みのかも「声のドラマ」の会、朗読講座受講生の朗読と講師の公演を行います。



			主催:みのかも	「声のドラマ」の会・共催:美濃加茂で	
	11月15⊟(土)			11月16日(日)	
受講生による朗読	13:00~15:20			13:00~14:30	
●入場無料(自由席) ●会場:緑のホール ●定員:113名	「ランクアップ丼」瀬尾まいこ/作 「漆喰くい」高田郁/作 「旅に出たブランケット・キャット」			「海神-わだつみ」 藤岡陽子/作 「捨てる神あれば」 諸田玲子/作	
講師公演	15:40~17:50			14:50~17:00	
特別ゲスト公演	講師公演	清水勇詞	「清貧譚」太宰	:治/作	

酒井麻吏 『いないいない、いない一四つのひろしま物語』より 「あの子物語」大野允子/作

特別ゲスト公演 戸村美智子 「父が帰る日」 唯川恵/作 ※講師の公演作品は両日とも同作品です。

チケットは10月3日(金)より、文化の森総合案内にて販売いたします。電話予約可(0574-28-1110)

事前申し込み について

電話、FAX による受付は行いません。右記のいずれかの方法でお申し込みください。

■文化の森ホームページ講座専用申込フォーム

●入場料:1,000円

●会場:緑のホール

●定員:113名

(自由席)

こちらの 2 次元コードからもお申し込みできます。→

■はがき(住所、氏名、電話番号、希望講座を記入) 「陶芸でつくる器」は希望時間帯もお書き添えください。

※応募者多数の場合は抽選となります。抽選結果は郵送にて お知らせいたします。

講座にお申し込みいただい た個人情報は、以下の項目 のみに使用します。

1. お申し込みに関する問合せ 2. 講座開催に関する連絡

なる場合がありま すので、文化の森 ホームページでご 確認いただくか、 3. 抽選結果の通知 電話でお問い合わ せください。

※イベントや講座に

ついて、今後の予

定や定員が変更に

休室のお知らせ

12/16(火)~12/21(日)は資料整理のため、常設展示室・緑のホールを含む展示棟エリアを閉室します。